

くろしお祭り・くろしお200人キャンプ

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

高知県東部地域及び徳島県南部地域の豊かな自然・歴史・文化を体験する活動、宿泊体験、世代間交流などを通して、青少年のチャレンジ精神、創造性、社会性を育む。

○ 実施期間

平成30年10月20日（土）～平成30年10月21日（日）

○ 対象者・参加者数（人数／定員）

くろしお200人キャンプ：小学3～6年生（100名／150名程度）

くろしお祭り日帰り参加者：どなたでも（165名／100名程度）

○ 活動プログラム

10月20日〔土〕	10月21日〔日〕
13:30 送迎バス 出発 16:00 自然の家 着 200人キャンプはじまりのつどい 夕食 19:00 200人キャンプファイアー 消灯・就寝	朝のつどい 朝食 10:00 くろしお祭り開会 14:00 くろしお祭り閉会 14:00 送迎バス 出発

2. 活動の様子

<1日目>

200人キャンプは、くろしお祭りをたっぷり楽しむ前泊プログラムとして開催された。夜のキャンプファイアーでは普段開催している教育事業ではなかなかできない、大人数で盛り上げられる内容のゲームを中心に構成された。また、キャンプソングもこれまでにない迫力での大きな声量が室戸の山に響き渡った。



<2日目>

今年のくろしお祭りは、室戸市内各種団体、近隣国立施設、室戸ボランティアリーダーの協力を得てクラフトブース、体験ブース、チャレンジブースの3つの領域で30ブースを出展した。屋内外問わず敷地のあちらこちらにブースが設けられ、参加者にはスタンプラリーカードを手に自由に回ってもらった。自分の気に入ったブースではたっぷりと時間を過ごしたり、何度も同じブースにチャレンジしたりする姿が見られた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・いろいろなかつどうがいっぱいあったのしかった。またらい年もきたい。
- ・すごかったのしかった。いろいろな体験をした。
- ・リーダーの人もやさしかったし、お友だちもできて楽しかったです。
- ・またいきたくなるキャンプでした。
- ・ふだんできない体験や他の学校の子たちと仲良くできた。

○ 事業の成果

- ・室戸ボランティアリーダーが主体となって企画立案したブースを主軸とした運営を試みたが、参加者からは多大な好評を得た。また、リーダーからも「自分で考えたブースでたくさんの子供たちに楽しんでもらえたことが自信になった」の声があり、リーダーのスキルアップのまたとない機会とすることができた。

○ 事業の課題

- ・地域の行事と重なったことから、これまで出展、出演していた団体の参加がなかった例があり、また、前泊プログラムの参加者も想定を下回ってしまった。次年度は日程を変えて開催することで地元とのつながりをより密にしたい。
- ・ブースを敷地各所に分散したことで、人が賑わう場を産み出しきれなかった。ブースの集約配置を行うことで、祭りの賑やかさを見せる工夫をが必要である。